

エキスパートが実践する 緑内障・白内障手術

座
長



井上 俊洋 先生
(熊本大学)

【略 歴】
1997年 熊本大学医学部卒業
1997年 熊本大学/熊本労災病院 研修医
1999年 北里大学 (国内留学)
2001年 高千穂町国民健康保険病院
2006年 熊本大学大学院 博士課程修了
2006年 Duke University Eye Center リサーチフェロー
2008年 熊本大学 助教
2011年 熊本大学 講師
2019年 熊本大学 教授
現在に至る

緑内障の手術管理フロー・ 切ってもきれない白内障手術

演
者



本庄 恵 先生
(東京大学)

【略 歴】
1995年 京都大学医学部卒業 眼科学教室入局
2001年 京都大学大学院視覚病態学修了 助手
2004年 北野病院眼科副部長
2006年 京都大学大視覚病態学助教
2007年 東京都健康長寿医療センター
2015年 東京大学医学部眼科学教室講師
2019年 東京大学医学部眼科学教室准教授
現在に至る

緑内障専門医による 白内障手術のベストプラクティス

演
者



東出 朋巳 先生
(金沢大学)

【略 歴】
1990年 金沢大学医学部 卒業
1992年 マイアミ大学 バスコムバルマー眼研究所 研究員
1996年 金沢大学医学部附属病院眼科 助手
2006年 金沢大学医学部附属病院眼科 講師
2010年 金沢大学医学部附属病院眼科 病院臨床教授
2022年 金沢大学医薬保健研究域医学系眼科学 准教授
現在に至る

緑内障も白内障も加齢と共に増加する疾患であり、緑内障は日本人の中途失明原因第一の疾患であることはご存じのことと思います。

現在「人生100年時代」と言われる一方、日本は既に超高齢社会にあり、そのことから、今後ますます緑内障眼への白内障手術を行う機会が増えてくことが予想できます。

そこで本日は、緑内障と白内障のそれぞれに造詣が深いお二人の先生から、実臨床での治療についてお話しいただきたいと思っております。最初に東京大学の本庄恵先生からは、緑内障患者への外科的治療方針と昨今さまざまなデバイスや術式が登場している低侵襲緑内障手術 (Minimally Invasive Glaucoma Surgery: MIGS) の最新トピックについてご講演いただきます。次に金沢大学の東出朋巳先生からは、白内障手術に焦点を当て、眼内レンズの選択方針や独自の光学設計を持つ高次非球面単焦点眼内レンズの臨床経験などについてご講演いただきます。本セミナーがご参加のみなさまの緑内障・白内障手術の一助となることを願っております。